

事業所名	児童発達支援 子ども未来サポートルームEL		公表日 2025年 3月 24日			
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	8			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	8			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	8			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	8		毎日清掃し、清潔を心がけています。また、プレイルームなどダイナミックに活動する部屋と、保育室など机上課題を行う部屋が分けられています。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	8			
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	8			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8		保護者向け評価を毎年行い、職員に回覧などで周知するとともに、改善が必要な内容は検討しています。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	7	1	第三者による外部評価は、毎月の会議にて意見をいただいています。結果は議事録にて職員へ周知するようにしています。	新規職員に周知できていない現状あり。今後、新規職員に周知できるように伝達体制を整えます。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	8		積極的に研修や講習を受講する機会を設け、研修後には、研修報告を行っています。年に数回事業所内にて研修も行っています。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8		ABA(応用行動分析)、CBT(認知行動療法)など効果的な支援方法を参考に、対象児に合わせてプログラムの作成を行っています。支援プログラムはホームページにて公表しています。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	8			
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8			
	14	児童発達支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8		計画書を職員間で共有し、内容を随時確認できるようにしています。また、定期的な会議にて話し合いを行っています。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	8		標準化されたツールについては、PEDIにて評価実施しています。子どもの実際の行動を把握・観察し、評価(インフォーマルなアセスメント)を行い日常的な支援の工夫に繋げています。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	8			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7	1	内容や改善点など定期的な会議にて意見を出し合い、見直し等行っています。	

	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8				
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	8			必要な際は個別で対応するなど、子どもの状況に応じて、小集団との活動を組み合わせる支援を行っています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8			朝礼にてその日の予定・流れを確認し、連携を行い支援にあたっています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	3		支援終了後は、就業時間終了間際のため翌日に振り返りや、気づいた点などの情報共有を行うことが多いです。また記録を残すようにし、職員間で共有できるようにしています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8				
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8				
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	8				
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	8			小児クリニックや療育センターと連携をとって支援を実施しています。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	8			動画をご家族に提供し、園などにも見せてもらったりと情報共有に努めています。またご家族の了承を得て、幼稚園等に出向き相互理解のための情報共有も行っていきます。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	8			支援内容等を情報共有シートにまとめ、保護者、学校に提供しています。また、依頼があれば学校等に出向き、相互理解のための話し合いを設けています。	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。					
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。					
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。					
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	8				療育センターに見学や相談などを行っています。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	3	5			室内活動がメインのため、あまり機会はありませんが、屋外イベントで行く公共施設での関わりは稀にあります。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	8				保護者の方が送迎に来た時に、子どもの家庭での様子などを確認しています。また定期的に面談や療育見学を行い、事業所での様子や状況を確認していただいております。
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	8				自宅で実施可能な練習方法について動画を提供しながら、情報提供を行っています。保護者会にてABAの内容や対応方法の勉強会を行っています。掲示にて情報提供を行っています。	
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8				保護者の方が分かりやすいような説明を心がけています。	

保護者への説明等	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8		定期的に意向の確認、聞き取りを面談にて行っています。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	8			
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8		こちらから声掛けするなどし、悩みや相談がしやすい環境作りに努めています。相談がある場合は、すぐに応じることができるように心がけています。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	6	2	保護者会やきょうだい同士で参加できるイベントを企画しています。	
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8		苦情解決担当者や第三者委員会を設置し、体制を整備しています。要望などがあった場合は、改善を検討しています。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	8		SNS、HP、ブログを活用し発信しています。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8			
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8			
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	3	5	一般参加可能なイベントの企画は行っていない。	
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7	1	定期的に発生を想定した訓練を実施しています。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8		定期的に避難訓練等を行っています。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	7	1	保護者へのアセスメント時に聞き取りを行い、記載しています。いつでも確認できるようにしています。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	3	5	アレルギーについては把握していますが、食事提供は行っていないため、医師の指示書に基づく対応は行っていません。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7	1	安全計画を作成し、必要な研修・訓練を定期的に実施しています。また、安全管理チェックを毎日実施しており、安全に活動ができるように努めています。	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	8			
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8		ヒヤリハットはその都度対策を検討し、再発防止に努めています。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7	1	職員には積極的に研修や講習を受けていただいています。	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	7	1	現在該当児童はいません。	